

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 秋川牧園  
 コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 秋川 正  
 (氏名) 原田 良人

TEL 083-929-0630

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,217	9.4	△10	—	△10	—	△17	—
27年3月期第1四半期	1,112	5.5	△15	—	△17	—	△22	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △13百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △19百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△4.13	—
27年3月期第1四半期	△5.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	4,091	1,342	32.8	321.93
27年3月期	4,026	1,368	34.0	328.15

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,342百万円 27年3月期 1,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,395	6.4	7	—	△1	—	△11	—	△2.66
通期	5,040	4.3	95	26.7	80	11.0	42	△10.3	10.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社ゆめファーム、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	4,179,000 株	27年3月期	4,179,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	7,510 株	27年3月期	7,510 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	4,171,490 株	27年3月期1Q	4,173,235 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)におけるわが国の経済は、円安と株高が継続する中、企業収益や雇用環境の改善が進み、設備投資も持ち直すなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながらその一方で、中国をはじめとする新興国経済の成長の鈍化や欧州債務問題など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、円安の影響による原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境にあります。輸入食品の信頼性に対する不安や健康意識の高まりもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は再び高まっております。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉及び冷凍加工食品の販売は堅調に推移し、また、直販事業の会員数も伸長したことから、売上高は増加いたしました。

利益面につきましては、若鶏生産の防疫関連費用の増加や、販売費及び一般管理費等の増加がありましたが、売上高の増加や、鶏肉パックセンターの生産性向上等により増益となりました。

なお、当社グループの売上は鶏肉等の需要が秋から冬にかけて多くなるため、利益の大半が下半期に発生する傾向があり、当期につきましてもその形で推移するものと見込んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、12億17百万円(前年同期比9.4%増)、営業損失は10百万円(前年同期は15百万円の損失)、経常損失は10百万円(前年同期は17百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は17百万円(前年同期は22百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (生産卸売事業)

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵、牛乳等で構成される生産卸売事業につきましては、主力の鶏肉及び冷凍加工食品を中心に販売が前年同期を上回ったため、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、若鶏生産の防疫関連費用の増加があったものの、売上高の増加や、鶏肉のパックセンターの生産性向上等により増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、10億14百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は58百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

#### (直販事業)

当社の食品を中心に会員宅に商品をお届けする直販事業につきましては、全国向けの宅配の会員数が首都圏を中心に伸長し、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、運賃や会員募集費等の販売費及び一般管理費の増加がありましたが、売上高の増加により増益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、2億2百万円(前年同期比19.0%増)、営業損失は0百万円(前年同期は3百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、65百万円増加し、40億91百万円となりました。これは主に、現金及び預金が52百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、27億48百万円となりました。これは主に買掛金が70百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、13億42百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度まで非連結子会社であった㈱ゆめファームは、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	769,867	822,726
受取手形及び売掛金	577,310	560,488
有価証券	20,477	20,478
商品及び製品	103,562	107,567
仕掛品	204,126	193,311
原材料及び貯蔵品	62,993	66,617
繰延税金資産	18,332	17,518
未収入金	115,425	140,796
その他	33,476	33,218
貸倒引当金	△1,443	△1,195
流動資産合計	1,904,129	1,961,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	668,383	674,524
機械装置及び運搬具(純額)	285,993	282,986
土地	879,562	881,802
建設仮勘定	24,881	23,552
その他(純額)	96,711	101,761
有形固定資産合計	1,955,532	1,964,627
無形固定資産		
のれん	38,003	37,091
その他	26,333	25,028
無形固定資産合計	64,337	62,120
投資その他の資産	102,609	103,556
固定資産合計	2,122,479	2,130,303
資産合計	4,026,608	4,091,829
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	365,413	435,425
短期借入金	961,128	968,639
リース債務	12,830	12,198
未払法人税等	23,507	8,706
賞与引当金	21,528	18,309
その他	280,055	273,687
流動負債合計	1,664,462	1,716,965
固定負債		
長期借入金	688,140	722,068
リース債務	24,062	21,515

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
繰延税金負債	25,642	25,680
退職給付に係る負債	210,510	216,803
役員退職慰労引当金	44,914	45,869
固定負債合計	993,269	1,031,936
負債合計	2,657,732	2,748,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	554,541
利益剰余金	86,471	56,585
自己株式	△4,381	△4,381
株主資本合計	1,350,781	1,320,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,094	22,032
その他の包括利益累計額合計	18,094	22,032
純資産合計	1,368,876	1,342,927
負債純資産合計	4,026,608	4,091,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,112,073	1,217,012
売上原価	880,265	964,887
売上総利益	231,807	252,124
販売費及び一般管理費	247,168	262,614
営業損失(△)	△15,361	△10,490
営業外収益		
受取利息	130	59
受取配当金	781	791
補填金収入	481	1,219
補助金収入	435	986
その他	651	769
営業外収益合計	2,480	3,826
営業外費用		
支払利息	4,264	3,928
その他	20	31
営業外費用合計	4,285	3,960
経常損失(△)	△17,165	△10,624
特別利益		
固定資産売却益	243	443
特別利益合計	243	443
特別損失		
固定資産売却損	—	768
固定資産除却損	144	135
特別損失合計	144	904
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,067	△11,086
法人税、住民税及び事業税	6,467	7,200
法人税等調整額	△984	△1,006
法人税等合計	5,482	6,194
四半期純損失(△)	△22,550	△17,280
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△35
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,550	△17,244

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△22,550	△17,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,881	3,938
その他の包括利益合計	2,881	3,938
四半期包括利益	△19,668	△13,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,668	△13,306
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	942,242	169,831	1,112,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,889	473	42,363
計	984,131	170,304	1,154,436
セグメント利益又は損失 (△)	57,038	△3,857	53,180

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	53,180
のれんの償却額	△3,329
全社費用(注)	△65,212
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△15,361

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	1,014,846	202,165	1,217,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,384	478	62,862
計	1,077,230	202,643	1,279,874
セグメント利益又は損失 (△)	58,677	△60	58,617

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	58,617
のれんの償却額	△912
全社費用(注)	△68,195
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△10,490

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。